【奈良県王寺町】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	奈良県王寺町
担当課名	教育委員会　学校教育課
電話番号	0745-72-1031

１．自治体の基本情報

基本情報

人口	23,869人	部活動数	14部活
公立中学校数	2校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置予定あり
公立中学校生徒数	566人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

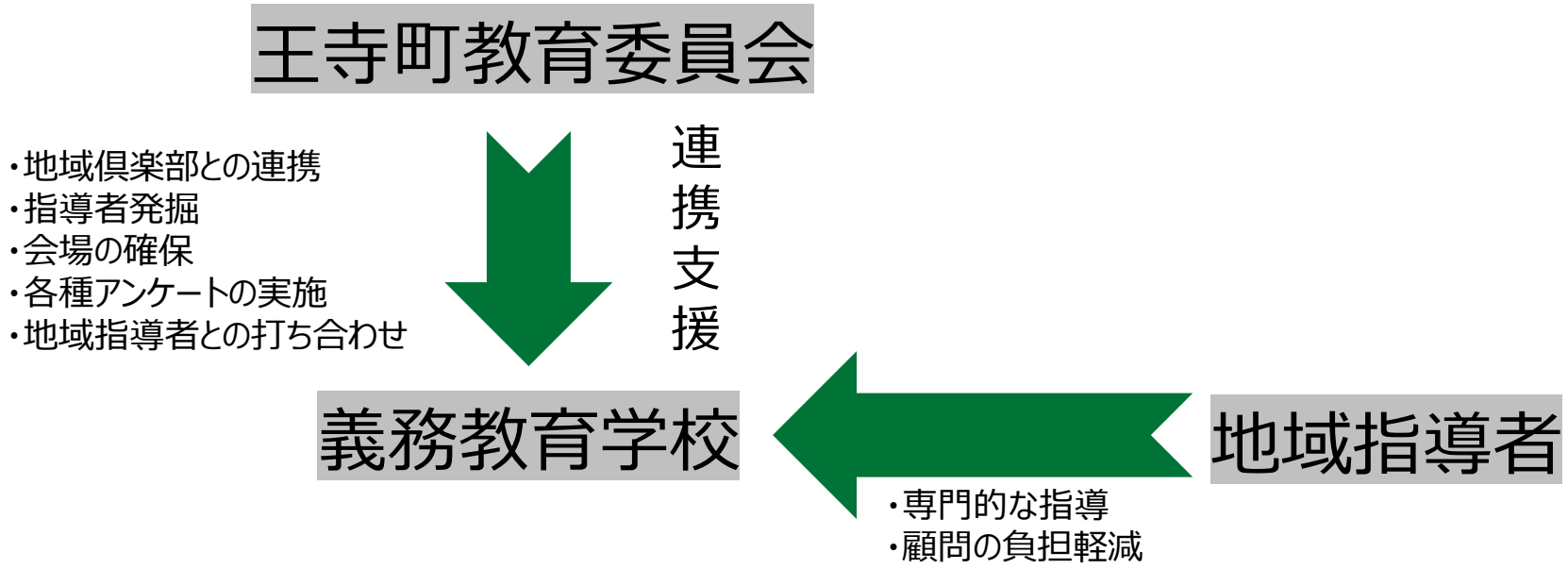
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

生徒数や教員数の減少に伴い、町内に２校ある義務教育学校において、生徒が希望する部活動を行うことができない状況となっている。また、部活動は、地域のスポーツ振興という点においても、学校における生徒指導面においても重要な役割を担っている。今回の休日部活動の段階的な地域移行に向けての実証事業として、両校の卓球部を合同練習という形で実施した。今後、部活動の地域移行を進めていくにあたり、部活動顧問や地域指導者が一貫して指導に当たる協力体制の構築が重要であると考える。

２．実証内容と成果

運営体制・役割

運営組織図



年間の事業スケジュール

４・５月　部活動の現状把握、部活動実証事業の実施に向けて学校との協議
６・７月　実証事業の実施にあたり部活動顧問へのヒアリング
８・９月　実証事業の実施
１０～１２月　実証事業の実施
　　拠点校方式による部活動の実施について、学校との意見交換
１～３月　アンケートの集計、総括、次年度にむけての検討

2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

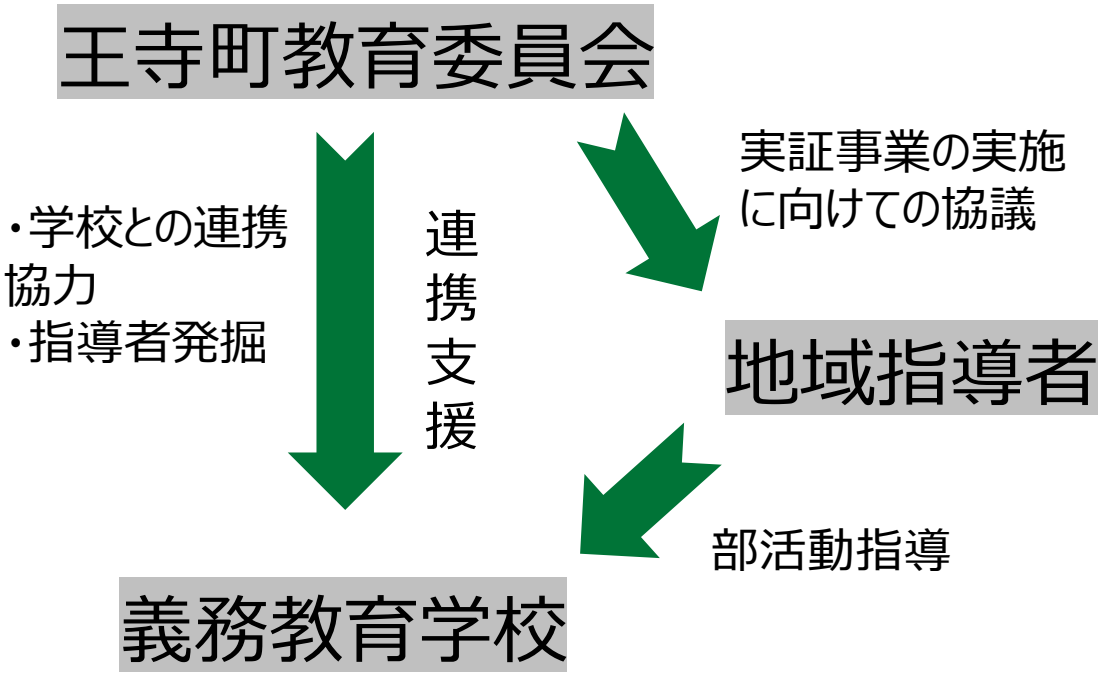
拠点校数	１校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	卓球
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	１部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	王寺北義務教育学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	1
地域クラブ活動で実施した種目	卓球
運営主体名	王寺町教育委員会
運営類型	市町村運営型（地域団体・人材活用型）
１か月あたりの平均的な活動回数	年３回
指導者の主な属性	総合型地域倶楽部指導者
活動場所	王寺北義務教育学校　体育館
主な移動手段	各自
１人あたりの参加会費等（年額）	無
１人あたりの保険料	無

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2．実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

●教育委員会と学校等の連絡、調整等を行うコーディネーターを配置した。コーディネーターを中心に、学校管理職、部活動の顧問等に部活動の地域移行に向けての課題などについての意見交換を行った。
●部活動地域移行の実証事業に参加するとともに、定例教育委員会、校園長会、教頭・主任会、生徒指導連絡協議会等で部活動の地域移行に向けて定期的に意見交換を行った。

取組の成果

●各学校の管理職、教職員が部活動の地域移行について、具体的に考えるきっかけとなった。

特に工夫した事項

●コーディネーターは定期的に各校を訪問し、管理職をはじめ、部活動顧問と連携を図り、スムーズに生徒たちが活動できるように努めていた。

今後の課題と対応方針

●保護者や生徒、学校関係者、スポーツ関係団体などと共に、将来の部活動への危機感を共有し、同じ方向を向いて取組を進めることが肝要である。そのためにも、できるだけ早く方向性を見いだし、さまざまな手法を用いた周知に努めていく必要がある。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項	●総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラストとの意見交換 ●元教職員の活用 ●教職員の地域指導者としての意向調査
取組の成果	●卓球部において３回実証事業を実施し、指導者は元教職員（校長）で生徒への指導は上手く、生徒たちも積極的に喜んで参加していた。 ●実施後の生徒へのアンケート結果においても、肯定的な意見が多かった。参加者の心身の健康管理、事故防止を徹底し、生徒自身も楽しく活動することができた。
特に工夫した事項	●部活動指導員として長年、生徒への指導を行っていた経験があり、本事業の趣旨についても十分に理解している元教職員に地域指導者の依頼をしたことにより、本事業を円滑に実施することができた。
今後の課題と対応方針	●年間通じて、休日の地域指導者の確保を教育委員会のみで行うことは困難なため、県の人材バンク、総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト等、様々な機関を通じて指導者を確保する必要があると考える。 ●教職員が兼職兼業の許可を得て地域で指導する際に、本来業務へ影響が生じることのないように、心身に過重な負担とならないように配慮する必要がある。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項	●競技スポーツ中心の学校部活動と余暇活動中心の地域スポーツクラブへの指導内容等の違い等もあり、関係団体との連携強化については、卓球部の実証事業以外においては、具体的に取り組むことはできなかった。
取組の成果	●多くの参加者があり、いつも違った活動を行うことができた。 ●各校での練習は試合形式が多く、実証事業においての練習は基礎的な練習が多く、個々の技術が伸長したように思われる。
特に工夫した事項	●地域指導者は町の総合型地域クラブ王寺やわらぎトラストでも指導をされている。参加者の中には
今後の課題と対応方針	●本町における部活動の地域移行における方針を決定したうえ、指導者確保に向け、県の人材バンク、総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト、民間スポーツ会社、部活動指導員等と連携していく必要がある。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項	●指導経験が豊富な元教職員を卓球部の地域指導者として任用した。 ●北義務教育学校を拠点校とし、南義務教育学校の生徒の参加も認めた。
取組の成果	●指導者からの技術指導は、生徒自らが考えてプレーできるように、ポイントを絞った指導を心がけてもらった。そのため、生徒たちは以前より自ら考え、進んで活動することができた。 ●生徒たちは競技力の向上だけでなく、お互いに助け合い、協力することの大切さを学ぶことができた。 ●楽しくプレーすることに重点を置き、活動を行ったことにより、アンケート結果からみても生徒からは好評であった。
特に工夫した事項	●技術レベルごとのグループに分け、それぞれのグループリーダーを実施回ごとに生徒たちが選出し、そのリーダーを中心に練習メニューを立てた。（必ず取り組まなければならない練習メニューは指導者から提示）
今後の課題と対応方針	●実証事業の実施回数は少なかったが、今後の地域移行を目指すための手掛かりになった。引き続き、学校、生徒・保護者・地域指導者との連携を図り、地域移行による部活動の内容の充実に取り組んでいきたい。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

取組事項	●今回の実証事業においては、３回のみの実施であったため、参加費用の負担は求めなかった。
取組の成果	
特に工夫した事項	
今後の課題と対応方針	●今後、段階的な地域移行を実施する部活動と実施していない部活動との間で受益者負担という観点から不公平感が生じることも考えられる。また、地域移行を進めていくにあたり、国・県からの補助金や助成金等による支援が必要と考える。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

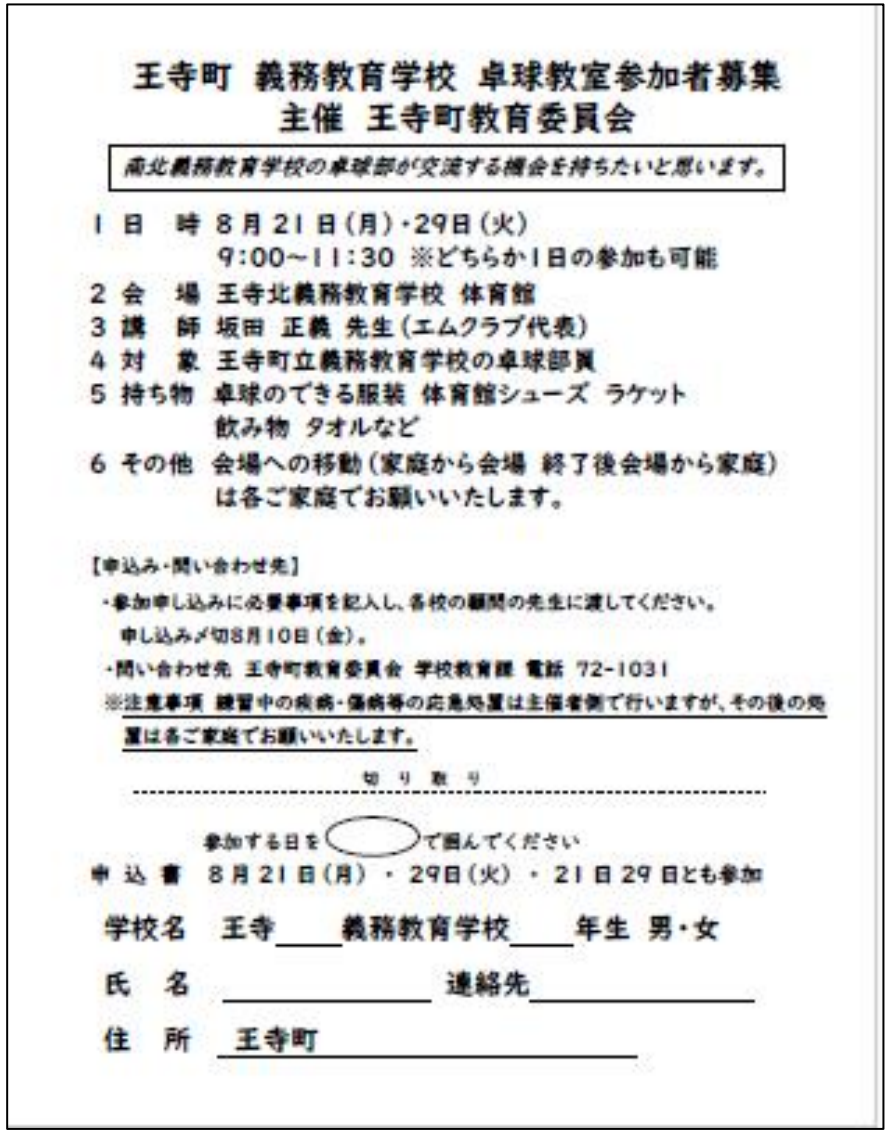
取組内容

▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

取組事項	●王寺北義務教育学校の体育館を活用。 ●王寺北義務教育学校の施設・備品の利用。 ●今回の実証事業においては学校施設・備品の使用料は徴収しなかった。
取組の成果	●王寺北義務教育学校は、避難所にも使用できる冷暖房完備の施設である。そのため、部員たちの熱中症を心配することなく、快適に実施することができた。 ●日頃から生徒たちが使っている施設・備品であるため特に利用にあたっては混乱はなかった。
特に工夫した事項	●体育館を利用するにあたり、学校側は優先的に利用させてくれた。
今後の課題と対応方針	●学校体育施設については、これまでも学校開放を行っており、地域運動部活動を実施する場としても活用が可能であるため、今後、休日の地域運動部活動の円滑な移行に向け、各組織・団体、学校等の間において調整・連携を図っていく必要がある。

2．実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）



王寺町 義務教育学校 卓球教室参加者募集
主催 王寺町教育委員会

南北義務教育学校の卓球部が交流する機会を持ちたいと思います。

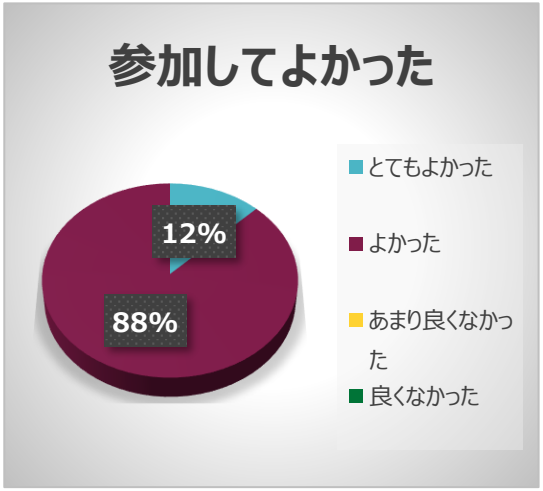
1 日　時 8月21日(月)・29日(火)
9:00～11:30 ※どちらか1日の参加も可能
2 会　場 王寺北義務教育学校 体育館
3 講　師 坂田 正義 先生(エムクラブ代表)
4 対　象 王寺町立義務教育学校の卓球部員
5 持ち物 卓球のできる服装 体育館シューズ ラケット
飲み物 タオルなど
6 その他 会場への移動(家庭から会場 終了後会場から家庭)
は各ご家庭でお願いいたします。

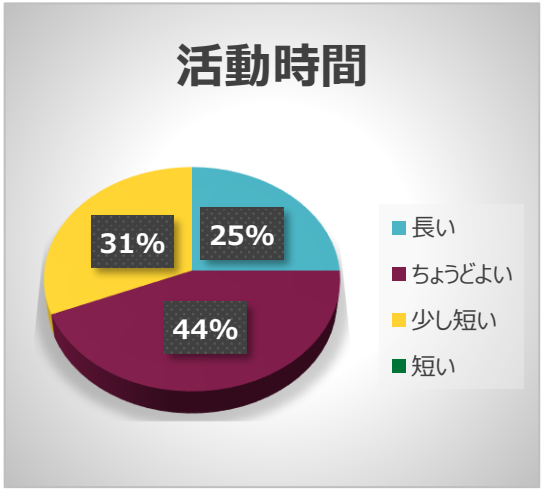
【申込み・問い合わせ先】
・参加申し込みに必要事項を記入し、各校の顧問の先生に渡してください。
申し込み〆切8月10日(金)。
・問い合わせ先 王寺町教育委員会 学校教育課 電話 72-1031
※注意事項 練習中の疾病・傷病等の応急処置は主催者側で行いますが、その後の処置はご家庭でお願いいたします。

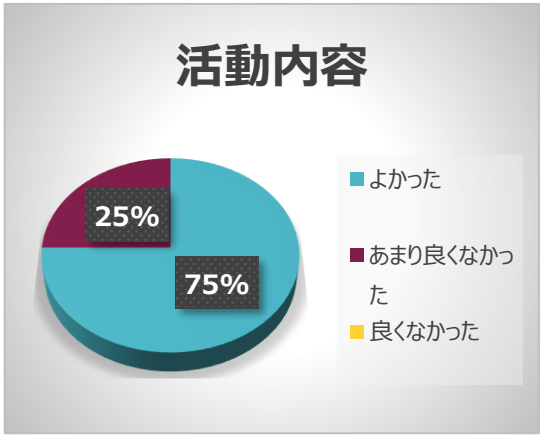
切り取り

参加する日を○で囲んでください
申込書 8月21日(月) ・ 29日(火) ・ 21日29日とも参加
学校名 王寺＿＿義務教育学校＿＿年生 男・女
氏　名 ＿＿＿＿＿＿ 連絡先＿＿＿＿＿＿
住　所 王寺町＿＿＿＿＿＿＿＿

【参加募集チラシ】







【活動を終えての生徒アンケート】

2．実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【指導者より練習内容の説明】







【練習風景】

2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年度

人材確保・準備	指導者への委託	学校現場との調整	生徒、保護者への説明	地域クラブ活動の開始	地域クラブ活動の活動報告
●卓球部顧問等へのヒアリング、ニーズ・課題の把握 ●地域指導者の確保 ●学校管理職への協力依頼	●地域指導者への説明 ●卓球部顧問と地域指導者の連携 ●学校管理職への学校施設の借用についての依頼	●指導体制について協議 ●日程の調整 ●保護者へ参加承諾書の配布・回収 ●地域指導者との事前打ち合わせ	●第１回: ８月２１日（月） ●第２回: ８月２９日（火） ●第３回: １２月２５日（月） ●生徒へのアンケート実施 ●アンケートの集計 ●各学校にアンケート結果の報告 ●次年度実施に向けて、各学校からの意見聴収		

３．今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

王寺町教育委員会　学校部活動の地域移行スケジュール（案）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
部活動地域移行の 実証事業の実施	部活動地域移行の 実証事業の継続	部活動地域移行の 実証事業の継続
卓球	卓球	卓球以外の部活動も含めて 実施
令和５年度検討事項と実施内容	**令和６年度検討事項と実施内容**	**令和７年度検討事項と実施内容**
1　学校と教育委員会による意見交換 2　部活動の地域移行の実証事業の実施	1　部活動地域移行に係るガイドラインの作成 2　部活動地域移行に向けての検討委員会の立上げ 3　指導者の確保 （教職員の兼職兼業の承認など）	1　指導者の確保 （教職員の兼職兼業の承認など） 2　休日の部活動の地域移行についての保護者説明